

# エコパーク通信

## 平成29年3月号

御前崎エコクラブ会長  
山本 貴美枝



ヤエザクラ



カワツサクラ



タイリョウサクラ



オキザリス (白・桃・黄・紅)

## エコパークの今昔物語

小田 邦浩 (エコクラブ会員)

現在のエコパークの場所は、以前は女岩区が位置する海辺で、遠浅の岩場があり、大勢の人で賑わっていました。当時私は、海岸線に近い山際に住んでおりましたので春先の干潮時は、遙か彼方まで続いていたこの岩場で、潮干狩りをして小魚やツボ（貝）等を拾いました。夏の海水浴や、伝馬船にて大人と繰り出す「クジミ形」（アイナメつり）、そしてハマグリもたくさん拾いました。物心ついた頃は、さまざまな海の恵みに感謝の日々でした。

私が小学校3～4年生の頃、中央埠頭の埋め立て工事が始まり、港中央公園（現在のエコパーク）が出来て、ソフトボールのグラウンドも完備されました。それまでグラウンドが無かった地区だけに、子どもが皆で喜び、ソフトボールの練習に明け暮れたことを思い出します。中学生になると、さらに西の方にも埋め立て工事が進み、大きな池が出来ました。その池で、発泡スチロールで作った船に乗り遊んでいたら、当時の「有線放送」で注意され、肝を冷やした苦い思い出があります。とにかく、外遊びをした子どもの頃の思い出でいっぱいです。

「まちづくり委員会」の地元のお宝を巡る視察で、最初はきれいだった港中央公園が、うっそうとしたジャングルになった現状を目の当りにし、エコクラブ入会后、山本会長を筆頭とする公園の再生整備に加わりました。夏の暑い日、「葦」を草刈り機で刈っても刈っても終わらない、汗まみれの日もありました。最近では、あまりお手伝いできませんが、日々ご尽力されている山本ご夫妻には感謝しております。

昨年9月、私に待望の「初孫」が誕生しました。孫が成長したらエコパークで遊んだり、四季折々の花と一緒に愛でたいと思います。これからもできるだけ協力していきたいと思っておりますので、よろしく願います。